

事業所団体調査(鹿児島県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	社会福祉施設等新任職員研修	社会福祉施設・市町村社協に勤務する経験1年未満の職員	①福祉職場で期待される職員像 ②人権・同和問題 ③接遇の基本(接客・対応・挨拶の基本と訓練) ④健康管理について ⑤よき人間関係はよき仕事を作る	2回	1カ所	9時間(2日)	297人	2,000円	-	-
	社会福祉施設等中堅職員研修	新任研修受講後3年経過したもので、社会福祉施設・市町村社会福祉協議会に勤務する職員	①中堅職員の役割について ②問題発見のポイントと問題解決の技法～KJ法の進め方 ③対人援助技術論	1回	1カ所	11時間(2日)	146人	2,000円	-	-
	社会福祉施設等監督職員研修	社会福祉施設・市町村社協に勤務する指導監督の職責を付与された経験年数10年を経過した職員	①福祉の動向と課題について ②指導監督等からみた社会福祉施設の現状と課題 ③監督職員の役割(マネジメントの定義・機能など) ④社会福祉施設に求められているもの ⑤健康管理	1回	1カ所	9時間(2日)	81人	2,000円	-	-
	職場内研修指導者フォローアップ研修	社会福祉施設において職場内研修を推進する指導的立場にある職員	①これからの福祉人材育成と職場研修 ②職場研修の考え方と進め方 ③コーチングと部下育成 ④OJTによる部下指導の進め方	1回	1カ所	20.5時間(3日)	25人	9,000円	-	-
	カウンセリング研修(基礎・発展)	社会福祉施設、福祉事務所、市町村社協において各種相談業務に従事する者	講義・演習・ロールプレイによる研修	3回	1カ所	10時間	115人	6,000円	-	-
救急法研修	社会福祉施設の職員及び市町村社協に勤務する職員	①基礎学習:一次救命処置 ②気道異物除去 心肺蘇生法 ③全体実技:心肺蘇生法 AEDの使用法 ④実技評価:学科評価	2回	1カ所	5時間(1日)	57人	3,500円	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。 受講者意欲をどのように高めていか、引き出していか課題である。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。 職場内研修指導者フォローアップ研修などを通して、事業所ごとに職員が研修に参加する仕組み作り、環境整備を推進することで、多くの方に研修へ参加していただくよう努めている。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。 事業所ごとに職員が研修に参加する仕組み作り、環境整備が必要であるとする職員のキャリアアップ、人事考課とも連動した職場内研修推進体制確立の支援が必要だと考える。その際、職場内研修推進体制の確立を介護報酬の加算減算など報酬制度として位置づけることで支援の一層の強化が図られるものとする。人員配置基準など職員が研修を受講することで業務を外しても支障のない基準を定めることも方法と考える。
--	--	--

事業所団体調査(さいたま市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
さいたま市社会福祉協議会 地域福祉情報研修センター	コミュニケーションスキル研修 信頼を得るコミュニケーションスキルの習得	市内福祉従事者	(講義)コミュニケーションスキル 傾聴技法等について (演習)事例をもとにロールプレイングによる演習	2回	1カ所	20時間(4日)	113人	3,000円	279,180円	-
	広報上手になる研修 ～伝えるから伝わる広報のポイントを身につける～	市内の福祉施設、ボランティアグループ、地区社協等で広報に関わっている方	広報の基本についての講義及び広報物の制作等	1回	1カ所	8時間(2日)	53人	3,000円	160,650円	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。 ・講師の情報が乏しく、選定に苦慮している。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。 ・市内の福祉施設の全てに通知し、ホームページにも掲載している。 ・通知の時期は、早目に行い、スケジュール調整ができやすいようにしている。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。 ・計画的、継続的に研修を実施し、参加しやすい環境を整える。 ・福祉ニーズを的確に捉えた、本当に必要な研修を実施していく。
---	--	---

事業所団体調査(千葉市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
千葉市社会福祉協議会 千葉市社会福祉研修センター	介護技術向上研修	特養・老健等の介護員で、現場経験が2年未満の者	施設における基礎的な介護姿勢について ・介護姿勢の基本 ・ベッドメイキング ・体位交換 ・車椅子操作・移乗 等	1回	1カ所	5時間(1日)	31人		70,700円	
	認知症介護実践研修(実践者研修)	身体介護に関する基本的知識・技術を習得している者で実務経験が概ね2年程度の者	講義・演習 認知症介護の理念、知識及び技術を修得する	4回	1カ所	35時間(5日)※1回	203人	2,000円	2,842,647円	
	認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	介護業務に概ね5年以上従事した経験を持ち、実践者研修を履修後、1年以上経過している者	講義・演習・実習 実践者研修で得られた知識・技術をさらに深め、施設・事業所においてチームケアを効果的・効率的に機能させる能力を有した指導者を養成	1回	1カ所	98時間(14日)	15人	4,000円	923,235円	
	認知症対応型サービス事業管理者研修	・認知症介護経験年数が概ね3年以上の者で、実践者研修を履修している者 ・管理者になることが具体的に予定されている者	講義・演習 指定認知症対応型通所介護事業所・指定小規模多機能型居宅介護事業所・指定認知症対応型共同生活介護事業所の管理者となる者が「指定基準等の正しい理解」「職員の労務管理」「適切なサービス提供のあり方」などの必要な知識を身につける	3回	1カ所	14時間(2日)※1回		3,000円	687,622円	
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	・実践者研修を修了している者 ・指定小規模多機能型居宅介護事業所で計画作成担当者になることが具体的に予定されている者	講義・演習 指定小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者になる者(介護支援専門員)が、利用登録者に関する居宅介護支援計画や指定小規模多機能型居宅介護事業所における小規模多機能型居宅介護計画を適切に作成する上で必要な当該サービスに係る「基準の正しい理解」「適切なサービスの提供」「利用計画作成演習」などの必要な知識・技術を身につける	1回	1カ所	14時間(2日)	14人	2,000円	202,231円	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。

事業所団体調査(横浜市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
横浜市社会福祉協議会 ウィング横浜	指導的職員研修	横浜市在住または在勤の福祉保健従事者で、主任・係長等の指導的役職にある方	福祉事務所の指導的職員に期待される組織的役割や行動について理解し、指導的職員としてのリーダーシップとは何かを考え、職員育成・指導に必要な知識・技法について学ぶ。	1回	1カ所	12時間 (2日)	38人	-	-	-
	中堅職員研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者で、職歴満2年以上の方※すでに主任・係長等の役職にある方を除く	中堅職員として求められる役割について理解するとともにその役割を発揮するために必要な知識や技法について学ぶ。	1回	1カ所	12時間 (2日)	38人	-	-	-
	新人研修	横浜市内事業所に勤務する福祉保健従事者で原則社会人経験1年未満の方	社会人としての基本姿勢 ビジネスマナー 専門職としての業務の取り組み方	2回	1カ所	22.5時間 (3日)	102人	-	-	-
	新任研修	横浜市内事業所に勤務する福祉保健従事者で原則勤務経験2年未満の方	福祉への招待 横浜の福祉を学ぶ。	2回	1カ所	3時間 (1日)	85人	-	-	-
	職場研修担当者研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者で職場の研修担当者、もしくは職場の研修を推進する立場にある方	・これからの福祉人材育成と、職場研修の重要性(職場研修担当者の役割とは) ・人材育成の具体的推進方法について ~推進実態診断と演習~(OJTの推進施策と方法、OFF-JT研修の企画立案方法と策定演習) ・研修計画の策定の考え方と方法(研修ニーズの分析と次年度の研修計画案の策定演習)	1回	1カ所	13時間 (2日)	35人	-	-	-
	OJT研修	横浜市内の福祉保健事業所の従事者でOJT指導経験が浅い方、もしくは近々OJT指導を担う予定の方	OJTの重要性 OJTの指導の実際 OJTの指導体験学習	2回	1カ所	15時間 (2日)	87人	-	-	-
	説得技法を学ぶ	横浜市内の福祉保健事業所の指導的立場(管理職)の方 OJT指導経験を積まれた方	管理職の役割について リーダータイプ診断 共感的聴き方、説得指導(演習)	1回	1カ所	7.5時間 (1日)	34人	-	-	-
	介護職のためのトレーナー養成研修～更衣・排泄・食事介助～	横浜市内在住または在勤の介護業務従事者で指導的立場の方	「更衣・排泄・食事介助について」 根拠に基づく介護知識・介護技術 受講者相互評価・講師によるデモンストレーション	全2回	1カ所	1コース6時間 計 12時間 (各コース1日、全2日)	76人	-	-	-
	介護職のためのトレーナー養成研修～移動・移乗・体位変換～	利用者のいきがいくくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	「移動・移乗・体位変換について」 根拠に基づく介護知識・介護技術 受講者相互評価・講師によるデモンストレーション	全2回	1カ所	1コース6時間 計 12時間 (各コース1日、全2日)	78人	-	-	-
	業務標準化研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者(主な対象:管理者、主任、指導的職員、中堅職員)	業務の標準化の目的と進め方 マニュアル試案の作成演習 マニュアル試案の発表と全体指導	1回	1カ所	6.5時間 (1日)	45人	-	-	-
	リスクマネジメント研修入門編	横浜市内在勤または在住の福祉保健従事者で管理者、主任、リーダー等、主にリーダー職以上の方	リスクマネジメントの基礎から実践(講義) リスクマネジメント分析手法 ヒューマンエラーについての個人演習 ケースによる演習	1回	1カ所	6.5時間 (1日)	38人	-	-	-
	リスクマネジメント研修実践編	横浜市内在勤または在住の福祉保健従事者で管理者、主任・リーダー等、主にリーダー職以上の方	・リスクマネジメント理論の基本的な考え方(講義) ・ミニケース(事例)・危機予知トレーニング ・危険予知の考え方(講義)・リスク改善計画の立案	1回	1カ所	6.5時間 (1日)	37人	-	-	-
職場のストレス・マネジメント研修	横浜市内の福祉保健従事者で管理者(または主任、リーダー)など管理的立場の方	職場のメンタルヘルスの重要性・法的義務 管理者としてのストレス・マネジメントの進め方 本音を引き出す面談の仕方(演習)	2回	1カ所	7.5時間 (1日)	76人	-	-	-	

事業所団体調査(横浜市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
横浜市社会福祉協議会 ウィング横浜	労務管理の基礎知識	福祉保健事業所の労務管理担当者	・従事者の募集 ・労働契約締結時の留意点 ・労働契約解消時の留意点 ・労働条件の違いによる社会保険加入基準 ・労働時間と賃金について労働関連法規の理解 ・労働法令基準の休暇・休業制度	1回	1カ所	6時間 (2日)	43人	-	-	独立行政法人 雇用・能力開発 機構との共催事 業。分担により 費用支出なし。
	接遇ファーストステップ研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者(経験年数概ね3年未満)	福祉を取り巻く変化と現状について 好感を持てる基本応対ポイント 演習(ロールプレイングなど)	1回	1カ所	6時間 (1日)	32人	-	-	-
	接遇ステップアップ研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者(現場経験年数概ね3年以上)	福祉を取り巻く変化と現状について 中堅職員に期待される役割 演習(自らの接遇・マナーの振り返り)	1回	1カ所	6時間 (1日)	48人	-	-	-
	自分のためのストレス研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者	・ストレスが心の中に生じる状態について ・さまざまな人間関係におけるコミュニケーション ・援助職が抱えやすい悩み ・「悩み」や「ストレス」とうまく付き合う方法について	1回	1カ所	6時間 (1日)	26人	-	-	-
	福祉職場の経験が浅い方のための対人援助の基礎講座	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者で経験年数が3年未満の方	・専門職としての倫理観 ・専門職としての対人援助技術 ・職場内外での連携について	1回	1カ所	6時間 (1日)	45人	-	-	-
	苦情解決制度の基礎知識	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者	苦情解決制度の基礎知識 ・苦情対応が求められる背景と現状 ・苦情解決制度の概要 ・苦情解決制度の活用促進に向けた取り組み	1回	1カ所	3時間 (1日)	55人	-	-	-
	苦情解決制度の活用を考える	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者	苦情解決制度の仕組みとポイント 組織的な苦情解決システムを構築するために	1回	1カ所	3.5時間 (1日)	34人	-	-	-
	現場管理者のためのコーチング講座	横浜市内に所在する社会福祉事業所の管理者(施設長、事務長)等、人事考課等に携わり組織内において管理的な役割を担っている方	・コーチングの基本知識 ・コーチングに求められる姿勢 ・コーチングの流れ ・コーチに求められる話す・聞く能力 ・よりよい職場を目指して	1回	1カ所	6.5時間 (1日)	44人	-	-	-
	対人援助職のためのコミュニケーション研修初心者編	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者	・自分を知る ・他者を知る ・傾聴のトレーニング	2回	1カ所	6時間 (1日)	76人	-	-	-
	対人援助職のためのコミュニケーション研修応用編	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者	・コミュニケーションとは ・自己紹介エクササイズ・コンセンサス法・エゴグラム ・応答トレーニング	1回	1カ所	12時間 (2日)	44人	-	-	-
	プレゼンテーション研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者・活動者	・プレゼンテーション入門 ・プレゼンテーションの準備 ・プレゼンテーションの実施	1回	1カ所	6.5時間 (1日)	41人	-	-	-
	ケースカンファレンスの進め方講座 理論編・実践編	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者(対人援助職を中心に作られたグループ※理論編のみ個人参加可能)	【1日目】理論編:講義 【実習】現場でのカンファレンス 【2日目】実践編:発表・助言	1回	1カ所	15時間 (3日)	【1日目】 100人 【2日目】 49人	-	-	-
記録の書き方講座	横浜市内在勤または在住の福祉保健従事者で、高齢・障害分野に属する方	・記録について(講義) ・適切な記録の写し方(演習) ・記録の意義と目的(講義)	2回	1カ所	6時間 (1日)	110人	-	-	-	

事業所団体調査(横浜市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
横浜市社会福祉協議会 ウイリング横浜	サービス提供責任者研修～訪問介護計画書を学ぶ～	横浜市内に所在する指定訪問介護事業所のサービス提供責任者	・サービス提供責任者の基本的な役割とは ・利用者本位のニーズと目標・アセスメント ・担当ヘルパーとの訪問介護計画書の共有化	1回	1カ所	5.5時間(1日)	39人	-	-	-
	サービス提供責任者研修～サービス提供責任者の役割を学ぶ～	横浜市内に所在する指定訪問介護事業所のサービス提供責任者	・定められたサービス提供責任者の役割とは ・ヘルパーに対する教育・指導・マネジメント ・指導業務場面での事例検討	1回	1カ所	6時間(1日)	43人	-	-	-
	調理基礎研修	横浜市内に在住または在勤の福祉保健従事者	・調理の基本を知る ・料理を科学的に学ぶ ・おいしく簡単にできるメニューを学ぶ ・栄養や食べやすさを考えての食事作り	1回	1カ所	6時間(1日)	25人	-	-	-
	介護知識・技術クリニック 介護技術基礎講座	横浜市内在住または在勤の高齢分野の介護業務従事者で、経験年数の浅い方	・介護者にとって介護技術とは ・ボディメカニクスの原理 ・自立につなげる介護とは ・残存能力を活かす介護技術 ・体位変換 ・移動・移乗介助 ・更衣・食事・排泄介助	1回	1箇所	13時間(2日)	42人	-	-	-
	介護知識・技術クリニック 介護職のための医療的基礎知識	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者で、高齢福祉の現場で働いている方	・Aコース 消化 ・Bコース 排泄 ・Cコース 呼吸 ・Dコース 皮膚	各コース1回 全4回	1カ所	各コース1回3時間 全12時間(各コース1日、全4日)	・Aコース 88名 ・Bコース 88名 ・Cコース 75名 ・Dコース 95名	-	-	-
	介護知識・技術クリニック 認知症と認知症高齢者の理解	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者	・認知症の理解 ・アルツハイマー型認知症の特徴 ・レビー小体型認知症の特徴 ・脳血管性認知症の特徴 ・その他の認知症 ・BPSDについての理解 ・BPSDへの対応 ・認知症の方を理解すること	1回	1カ所	6時間(1日)	46人	-	-	-
	介護知識・技術クリニック レクリエーション研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者で、地域ケアプラザ等の施設において、高齢者を対象としたレクリエーション活動を担当する方	・介護・生活支援に活用するレクリエーションの基本姿勢と3つの方法 ・秘めた力を引き出すメニューの展開法 ・心地よい時間・空間の提供法 ・生きがい・はりあい実現の支援法	1回	1カ所	6.5時間(1日)	59人	-	-	-
	介護知識・技術クリニック 負担の少ない介助へのヒント	横浜市内在住または在勤の高齢分野介護業務従事者で、ホームヘルパー2級養成研修等を修了した基本的な介護技術を習得済みの方	人間の自然な動き、身体本来の動く仕組みを理解することを出発点として、介護する側介護される側どちらにも安心・安全な介助法を体験し、現場の介護につなげる。	1回	1カ所	3.5時間(1日)	26人	-	-	-
	明治学院大学提携講座 高齢者の生活を支える社会福祉	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	・日本の高齢者の実態 ・社会保障制度 ・介護保険制度導入の社会背景と社会変化	2回	1カ所	6時間(2日)	33人	-	-	-
明治学院大学提携講座 社会福祉実践と価値	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	・「社会福祉専門職に求められる自己覚知」 ・価値とは・ソーシャルワーカーの自己覚知 ・「社会福祉実践の視点」 ・事例を用いてソーシャルワークの焦点を学ぶ ・ソーシャルワークの援助の基盤	1回	1カ所	6時間(2日)	30人	-	-	-	